

豊かな心と生きがいを育むまち“古座川”

2016



広報

こざがわ

1

Vol. 145

第29回秋まつり
「広げよう！地域のチカラ！」

新年のごあいさつ

「福祉と教育そして産業」

あけましておめでとございます。皆様方には清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと大きな変化のあった年でした。「紀の国わかやま国体・わかやま大会」の開催、近畿自動車道紀勢線がすさみ町江住まで開通、町内では古座川町保健福祉センターと町営住宅川回団地、鳥獣食肉処理加工施設等が完成しました。

平成27年12月1日現在の古座川町の人口は、男1,340人、女1,586人、総数2,926人で、依然として少子高齢化が進んでいます。

このような状況の中で、古座川町は高齢者をはじめ、住民の方が安心して暮らせる町づくりを目指していかなければなりません。古座川町保健福祉センターを地域包括ケアシステムの拠点施設として位置づけ、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5点について密度の高いサービスを提供していきます。

教育委員会が4月から取り組んできた古座川町子ども教育15年プランは、0歳から15歳までの一貫した保育と教育の取り組みです。特に英語教育に力を入れ、2人のALTと英会話のできる地域おこし協力隊の職員の3名で保育園児から中学生まで英会話教室を始めました。小学校入学時には簡単な英会話ができるようになればと思っています。学力向上の基礎となる読書の推進も、学校だけでなく保育所、子育て支援センター、学童保育にも取り入れていきます。また、他人を信頼し、思いやる心や協力関係、連帯意識など豊かな人間関係を養うプロジェクトアドベンチャーを導入し、いじめや引きこもりなどの対策になればと考えています。

鳥獣食肉処理加工施設の運営は、シカ肉を中心に東京や大阪のレストランに「古座川の清流鹿」のブランド名で販売し好評を得ています。狩猟や有害駆除で捕獲したシカやイノシシの持ち込み体制の整備、処理施設の衛生管理承認制度や格付員認定制度の導入を行い、安全・安心な食肉の安定した提供に努めていきます。



シカ肉を使ったジビエバーガーを学校給食で提供したり、ハムやウインナーの加工品の開発を行い、ゆず製品やこんにゃく、ブルーベリーなど古座川の食材とセットで販売していきます。また、シカ革の加工と革製品の商品化の研究にも取り組んでいきます。

県道すさみ古座線(すさみから添野川間)、県道串本古座川線(和深から三尾川間)の県道2路線と国道371号線の拡幅工事の早期完成に向け引き続き取り組んでいきます。

新たに着手する山申線、大柳・高瀬線、下部山手線の改良工事を実施します。

七川総合集会所につきましては、年内完成を目指して取り組みます。平井地区の簡易水道施設は整備実施設計業務と一部工事着手を予定しています。

この他、各計画に添ってそれぞれの事業を適切に進め、安全で、安心して暮らせる町づくりを進めてまいります。

今年1年、皆さんにとって幸多い年となることをお祈りし新年のご挨拶といたします。

古座川町長 武田文夫



1月

- ・消防団出初式
- ・玉川大学農学部教授による「ニホンミツバチの生態と飼い方」講演
- ・第31回古座川町展
- ・こども議会



1月 消防団出初式



1月 こども議会

2月

- ・子ども子育て支援事業計画が完成
- ・ぼたん荘に薪ストーブ、紀州材テーブル、椅子を設置



2月 薪ストーブ・テーブル・椅子



3月 人権講演会

3月

- ・高池上部河川愛護会が知事表彰
- ・ふれあいいきいきサロン交流会が開催
- ・長期総合計画、観光振興計画、介護計画、防災計画が完成
- ・古座川町鳥獣食肉処理加工施設が完成
- ・古座川町保健福祉センター、町営住宅川口団地が完成
- ・川口地区の簡易水道施設が完成
- ・人権教育講演会で舞の海秀平氏が講演



4月 保健福祉センター業務開始



5月 消防団実動訓練

4月

- ・区長連合会開催
- ・古座川町保健福祉センター業務開始

5月

- ・消防団実動訓練
- ・中央公民館2階「古座川町歴史民俗資料展示場」がリニューアル
- ・紀の国わかやま1万人健康リレーウォーク



6月 玉川学園と協定を締結



7月 サマーキャンプ

6月

- ・玉川学園と「包括連携に関する協定」を締結

7月

- ・第24回クリーンキャンペーン
- ・第12回川崎市ふれあいサマーキャンプ受け入れ

8月

- ・中崎トンネルが開通
- ・玉川大学学長一行が来町
- ・一枚岩守り犬夏まつり
- ・古座川町のALTにグレゴリー先生が着任



8月 中崎トンネル開通



9月 国体デモンストレーション

9月

- ・国体デモンストレーションで大塔山ウォーキング

10月

- ・第5回きのくにに移住者大交流会
- ・第50回国勢調査



10月 きのくにに移住者大交流会



11月 社会福祉大会

11月

- ・第29回秋まつり
- ・第18回古座川町社会福祉大会

12月

- ・年末警戒

秋まつりが盛大に開催！！

11月22日、明神小中学校グラウンドで第29回古座川の秋まつりを開催しました。当日は天候にも恵まれ、約4,000人の参加者で賑わいました。

◆ 広げよう！地域のチカラ！

今年はテーマを「広げよう！地域のチカラ！」とし、近年栽培に力を入れているにんにくコーナーやジビエ、町内小学生によるお茶席など、地域資源や取組のPRが行われました。



ジビエバーガー販売



お点前はいかが？



じゃんけんぽん！



三品目の展示コーナー

催し物会場では、じゃんけん大会や空手演武などが披露され、子どもたちの元気な声が会場に響き渡っていました。推奨三品目コーナーでは、町内で栽培されたゆず、シキミ、千両の展示・販売を行いました。



盛大なもちまきに！

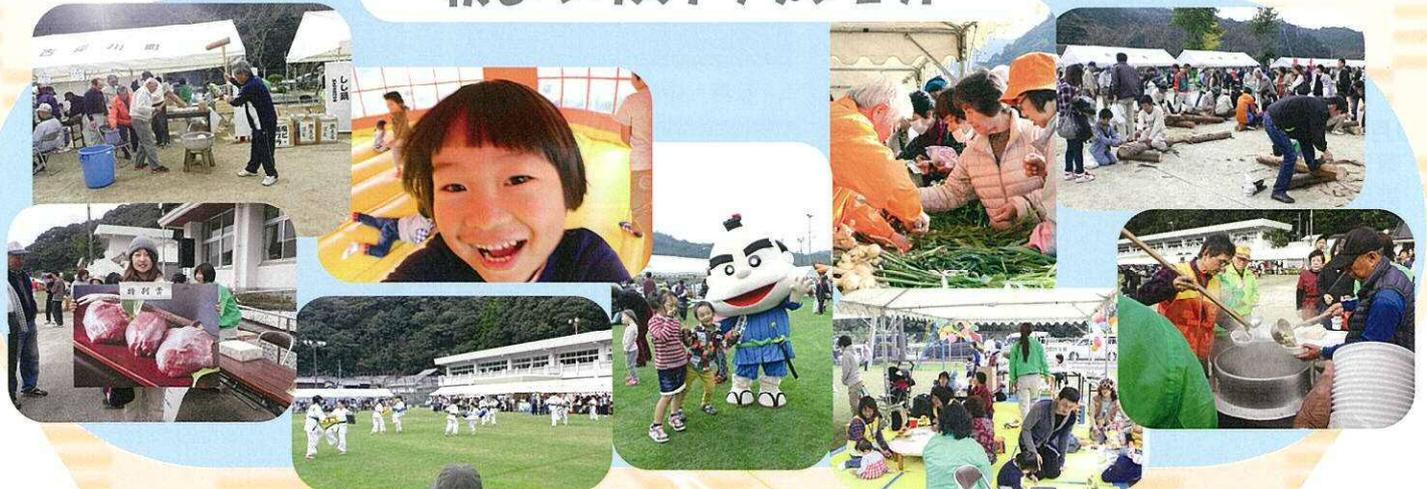


重い！重い！

出店者をはじめ、関係者の皆様のご尽力により、盛大な秋まつりとなりました。

今年度から、九度山町と地域の特産品を活用した交流活動にも取り組んでおり、九度山町からの出店もあり、柿や真田幸村に関するグッズも並びました。また、今回出店いただいた、みくまの農業協同組合と杉田商店より合計180kgのもち米を提供いただき、もちつきやもちまきに使用しました。提供者を代表して、みくまの農業協同組合より米俵の贈呈がありました。

秋まつりスナップショット





ぼたん荘に120名

～きのくに移住者大交流会～

10月31日、ぼたん荘で第5回きのくに移住者大交流会が行われました。

紀美野町、日高川町、古座川町の三町間で平成22年から始めた取り組みで、移住者同士の交流の場として毎年開催しています。

今回は例年に比べ子どもの参加も多く、スタッフを含め約120名が参加しました。移住者による事例発表や地元食材を使った食事のふるまいなど、和やかな雰囲気です。

【産業建設課 農林水産班】



たくさんの方にご参加いただきました



地元産品を売り込み

～玉川大学コスモス祭～

11月7・8日に東京の玉川大学で「コスモス祭」が開催され、観光PR及び物産販売を行いました。当日は少し雨が降りましたが、多くの人で賑わいました。

玉川学園と包括連携に関する協定締結後、初めてのイベントでもあり親睦を深めることができました。

今後も交流を深め、よりよい関係を築いていきます。

【産業建設課 産業観光班】



呼び込みを行っています

町の取り組み。出来事



火の用心！

～秋の火災予防運動～

古座川町消防団では火災を未然に防ぐために、毎年春と秋の全国火災予防運動期間中に防火啓発パレードや、女性消防団による防火診断を行っています。

今年は11月9日に団長、副団長、各分団長と古座消防署長が防火啓発パレードを行い、町内一円を広報車で周りました。

防火診断は、11月8日から11月18日のうちの4日間で48件の高齢者宅を訪問し、火の元の点検や火災報知器の点検などを行いました。

【総務課 総務行政班】



防火診断での聞き取りのようす



小学校と地区が合同訓練

～高池上部区・高池小学校～

11月16日、古座川町中央公民館で高池上部区自主防災会と高池小学校が合同で災害時避難所運営訓練を行いました。

古座川町に大地震が起こった想定で、6つの班に分かれて避難者を各施設に案内するゲームを行い、地区の方々と児童と一緒に対応を考えました。

訓練後は、各班で工夫した点・難しかった点を発表し、理解を深め合いました。

【総務課 総務行政班】



地区の方との交流も深まりました



笑 門には福来る ^_^

～古座川“笑”学校～

10月～12月、古座川町保健福祉センターにて古座川“笑”学校が計6回開校されました。

健康福祉課では毎年、各地域において認知症予防教室や介護予防教室などの取り組みを行っています。今年度実施した、古座川“笑”学校は、そういった取り組みの授業内容を踏まえ、お口の健康についての講義や栄養講座、簡単に組み入れる運動講座などを行いました。

学校のような雰囲気懐かしみ、「楽しく笑って過ごしてもらえる時間」の目的もあり、笑いの絶えない授業となりました。

【健康福祉課 健康班】



笑う前のストレッチ中です



ストローをくわえて…？



修了証書をもって笑顔



歌 って踊る園児たち

～高池保育所・三尾川へき地保育所発表会～

11月14日に三尾川へき地保育所、11月28日に高池保育所の発表会が開催されました。園児達はダンスや歌の練習の成果を、落ち着いて元気よく発表してくれました。

今年の新たな取り組みは、それぞれの保育所でALTのトーマス先生と一緒に、英語による歌と振り付けを発表したことです。

当日は保護者・祖父母の方々や地域の方々が多くご観覧くださり、園児達に拍手や声援を送っていただきました。

【教育委員会 教育班】



三尾川へき地保育所：トーマス先生と一緒に



高池保育所：くれよんのくろくん

お知らせと情報



確定申告の時期が来ました 所得税の確定申告のお知らせ

確定申告受付は、2月16日(火)から3月15日(火)までです。
なお、古座川町内における新宮税務署確定申告相談は左記のとおりです。

場所	古座川町中央公民館	
日時	平成28年2月23日(火)	所得税・消費税の確定申告相談
	午前9時30分～12時00分 午後1時00分～3時00分	

【来場の際に必要なもの】

- ①送付しました確定申告書及び関係書類、②前年分の申告書の控え、③源泉徴収票(給与・年金収入のある場合)、④所得控除に係る各種証明書などの申告書作成に必要な書類、⑤筆記用具、⑥印鑑、⑦電卓、⑧眼鏡等
- ※注意事項※
- 土地・建物・株式等を売却された所得、山林所得、贈与税や相続税に関するアドバイスは行っておりませんので新宮税務署までお越しください。
- 混雑の状況により、受付終了時間を早める場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【新宮税務署 個人課税部門】

【税務住民課 税務班】



身体障害者手帳をお持ちの方へ 便利な助成制度のご案内

古座川町では、身体障害者手帳を所持している方に、各種の助成及び割引制度を行っています。今回は利用頻度の高い4つの制度をご紹介します。

①住環境整備事業(半額助成)

自宅への手すりの取り付けや、段差の解消、玄関前の舗装などの費用を半額助成する制度です。

【条件】 3級以上か65歳以上の高齢者で非課税世帯。

②NHK放送受信料の半額免除又は全額免除制度

【条件】 1・2級所持または非課税世帯か、視覚・聴覚障害であること。

③有料道路通行料金割引制度(半額免除)

【条件】 手帳所持者自身の運転であるが、第1種の手帳所持者の介護者であること。

④福祉車両改造・購入補助金事業(一部助成)

障害のある方が自力で運転できるように、または障害のある方を介助しやすいように車両を改造するか、専用の福祉車両を購入する場合、改造費を助成します。

【条件】 級数や世帯の所得等により異なりますのでお問い合わせください。

以上の割引制度はすべて保健福祉センターで申請できます。詳しくはお問い合わせください。

【健康福祉課 福祉班】

自主防災組織を作りませんか?

自主防災組織とは、区等の自治会で互いに協力して、地域の方のために避難所運営や炊き出し、停電の際に発電機稼働等の防災活動を行う組織のことです。

古座川町では自主防災組織の設立や運営に関する相談・援助や補助制度をご用意しています。興味のある方はお問い合わせください。

【総務課 総務行政班】

林業の仕事をしていたことはありますか? 林業退職金共済制度からのお知らせ

林業の仕事をしていたことがありませんか? 林業共済制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしてきたが、ご自身が林業共加入していたか分からない方についてもお調べします。

また、罹災された共済契約者及び被共済者の皆様に対し、各種手続(共済手帳の紛失、退職金の請求等)の必要が生じた場合はできる限りの範囲において速やかに対応しますので、最寄の支部又は本部へお問い合わせ、ご相談ください。

〈お問い合わせ先〉

独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
〒170-8055

東京都豊島区東池袋1-24-1ニッセイ池袋ビル
電話 03-6731-2887
FAX 03-6731-2890

【産業建設課 農林水産班】

町税等納期限のご案内

各期別の納期限は左記のとおりです。納期限を過ぎると督促手数料や延滞金が加算されますので、忘れず納めましょう。

税目	期別	納期限
町県民税	第4期	平成28年2月1日
国民健康保険税	第7期	
介護保険料	第10期	平成28年2月29日
後期高齢者医療保険料	第7期	
国民健康保険料	第8期	平成28年2月29日
介護保険料	第11期	
後期高齢者医療保険料	第8期	

【税務住民課 税務班】

自衛官を募集しています

自衛官を左記のとおり募集しています。申し込みを希望される方は自衛隊新宮地域事務所までお問い合わせください。

幹部候補生	予備自衛官補		受験種目	応募資格	受付期間	試験日
	一般	技能				
一般	22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満)	18歳以上で国家免許資格等を有する者	18歳以上34歳未満の者		平成28年3月1日～5月6日	平成28年4月15日～19日の間(1日指定)
					平成28年1月8日～4月8日	平成28年5月14日(一般) 平成28年5月15日(飛行要員)

【総務課 企画財政班】

ブックスタートボランティアを募集しています

ブックスタートとは、地域の保健センターで行われる0歳児健診等の機会に、地域に生まれた全ての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動です。

子どもや絵本が好きな方、絵本を介して地域で子育てを応援していただける方を募集しています。

日程 毎月第3木曜日 年2回程度

時間 13:20頃～15:00頃

場所 中本町地域保健福祉センター2階

内容 乳幼児健診に来られた赤ちゃんと保護者に、絵本を読みかかせ、プレゼントする

【健康福祉課 健康班】

広報編集委員会コラム

古座川のひと昔話紹介

広報編集委員会より、新年1月号特別コラムとして、古い編集資料から見つけた古座川町にまつわるひと昔前のお話をご紹介します。

旧宇津木村のハス岩のお話

宇津木村、西ノ倉嶽のふもとに一角に古座街道(現県道)に接して民家があり、その裏に大きな落石が座っていました。この岩石には虫喰状の穴があって、いつしか水たまりに「ハス」の花が咲くようになりました。これに村人は喜び、「ハス岩」と名付けて愛したそうです。

ところが、当時紀伊大島の榎野崎、本州最南端岬に灯台を建設する計画がたち、その用材として宇津木石である「ハス岩」に白羽の矢がたちました。そして、かつて村人が愛した「ハス岩」は、日本最初の洋式石造り灯台へと姿を変えたそうです。

灯台自体が宇津木石を使用していることは知られた話だそうですが、ハス岩の話はあまり知られていないようです。

現在、灯台自体はかさ上げ工事で当時と変わっているようですが、隣接の旧官舎や付近の構造物には、宇津木石で作られたことが確認できます。

宇津木石は当時、素材として色んな所に使用されていたのですね。

食推の事業紹介

食推ではいろいろな事業を行っています。現在取り組んでいる事業をひとつずつ紹介していきます。

★おやこの楽しい料理教室

毎日の食事をきちんと味わって、おいしく食べることは子どもの心とからだの発育と健康のための第一歩です。食生活改善推進協議会では、小学生と保護者の方を対象におやこの料理教室を開催しています。包丁の使い方、食事のマナーやバランスの良い食べ方を覚える学びの場になっています。



食育の紙芝居もしています。

